

経済データで見る「最近の世界経済動向(2012年5~7月)」

* 青字は悪化指数、%は前年比

2012.7.20.現在 日本機械輸出組合

| | 2012年5月 | 2012年6月 | 2012年7月 | 最近の経済動向 |
|---------|---|---|--|--|
| 世界 | -GDP:12 13年米2.4% 2.6%、欧 0.1% 0.9、日2 1.5 -WTOITA 改定交渉開始で合意 -ドバイ原油16日107ドル -ASEAN+3 外貨融通網拡充 | -G20:ユーロ圏があらゆる措置 -リオ+20:環境と成長を両立させるグリーン経済重要 -ドバイ原油5日94.6ドル -世界半導体売上高5月3.4%減 | -GDP:12年:IMF世界3.5%、日2.4%、米2%、欧 0.3% -世界パソコン出荷4-6月0.1%減 | ・欧州の信用不安で同地域向け輸出が減少。中国経済は減速も成長維持、インドネシア、ベトナム、インドも5%以上成長、タイ回復傾向。米経済は消費・輸出堅調で回復傾向持続。 |
| 日本 | -株価:23日8,729円 31日8,490円 -雇用:4月:失業率4.6%、0.1%悪化、リストラ2500人減 -所得:夏ボーナス4.7%減 3年ぶり-、4月:所定内給与0.3%増 -消費:4月:消費支出2.6%増、小売販売5.8%増 -受注:3月:機械7.5%増、4月:工作機械0.5%増、 -生産:大崎電気スマート-タ量産100万台へ、4月:鉱工業12.9%増、自動車2.7倍反動 -貿易:4月:輸出7.9%増、輸入8.1%増、収支5,202億円赤字 -投資:4月:機械受注(民需)6.6%増、4-6月:機械(民需)予想前期比2.5%増、12年度:全産業16.8%増、製造業20.9%増 | -株価:4日8,261円 20日8,939円 -雇用:5月:失業率4.4%、0.2%改善 -物価:FTV価格下止まり、5月:消費者0.1%下落 -消費:5月:消費支出4%増、小売販売額3.6%増、新車販売66.4%増補助金復活 -受注:5月:機械受注6.8%減、工作機械2.9%減 -生産:5月:鉱工業6%増、乗用車60.8%増、建機出荷20%増 -貿易:5月:輸出10%増、輸入9.3%増、収支9,072億円赤字5月最大 -投資:5月:機械受注(民需)1%増、10年度:設備投資:全産業16.8%増(海外投資50.5%増)、12-16年度:スズキ年2千億円 | -景気:6月:製造業景況感-1、3が改善 -株価:4日9,106円、19日8,795円 -所得:夏ボーナス3.25%減 -消費:6月:新車販売43.6%増 -受注:1-6月:工作機械5.6%減 -収益:4-6月:営業益:日立建機22%増、コカ-Cola70%増 | (前々月)・GDP1-3月は4.7%増と回復。消費は車、住宅販売増等で回復傾向。輸出前年反動で増加。受注増加、投資・生産は回復。失業率は高水準。3月期企業業績は商社、重電機、建機、光学機は好調、電機、通信機器、部品不振。株価はボトムから回復の兆し。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP1-3月は4.7%増と回復。消費は車、住宅販売増等で回復傾向。輸出前年反動で増加。受注減少、投資・生産は回復。失業率はやや改善。3月期企業業績は商社、重電機、建機、光学機は好調、電機、通信機器、部品不振。株価は回復から再び下降。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料 |
| アジア・大洋州 | -株価:上海1日2434、28日2334 -中国:預金準備率0.5%引下げ、4月:消費者物価3.4%増、輸出4.9%増、輸入0.3%増、小売総額14.1%増、工業生産額9.3%増、新車販売5.2%増、3月期:純益:レノボ73%増 -台湾:4月:鉱工業生産2.3%減、輸出6.4%減、輸入2.1%増 -ASEAN:4月:新車販売20%増 -インドネシア:金利5.75%据置、4月:輸出3.5%減、車販売8%増28.3万台、消費者物価4.5%増 -ベトナム:4月:新車販売37%減 -タイ:4月:自動車生産60%増14万台、新車販売31%増 -インド:4月:鉱工業生産0.1%増、インフレ率7.6%、卸売物価7.2% | -株価:上海6日2306、29日2211 -中国:貸出・預金金利0.25%引下げ、年6.3%、3.25%へ5月:工業生産9.6%増、新車販売16%増、輸出15.3%増、輸入12.7%増、対中直接投資0.1%増、製造業景況感50.4、2.9%低下、消費者物価3%、 -台湾:5月:鉱工業生産0.2%減、輸出6.3%減、海外受注3%減、12年:TSMC、UMC7800億円投資 -韓国:5月:輸出0.4%減、12年:GDP3.3%下方修正 -ASEAN:5月:新車販売57%増29.5万台 -インドネシア:5月:新車販売56%増、消費者物価4.5%増、 -タイ:5月:自動車生産2.1倍20万台 -インド:5月:鉱工業生産2.4%増、新車販売8%増28.3万台 | -株価:上海3日2240、19日2193 -中国:6月:新車販売9.9%増、輸出11.3%増、輸入6.3%増、製造業景況感50.2、0.2%低下、消費者物価2.2%、 4-6月:GDP7.6%増3年ぶり8%下回る、1-6月:工業生産10.5%増、固定投資20.4%増、消費14.4%増 -台湾:6月:輸出3.2%減4ヶ月-、4-6月:純益:HTC57.8%減、南亜科技176億円赤字 -韓国:12日0.25%利下げ年3%へ、 4-6月:営業益:サムスン19%増4700億円過去最高スマートフォン -インドネシア:6月:消費者物価4.5%増、 -シンガポール:4-6月:GDP:前期比年率1.1%減 -インド:6月:新車販売9%増27万台 | (前々月)・中国は1-3月GDP8.1%、投資・消費高水準維持、車販売、輸出、生産回復兆し、株価低迷。韓国、輸出低迷、投資増、生産やや回復、企業業績好調。台湾、輸出、生産低迷、業績悪化。インドネシア、経済好調。シンガポールは回復。タイ、生産、消費回復傾向。ベトナム、高インフレ、車販売減少。インド、5%台成長に鈍化、生産横ばい、車販売は回復傾向、物価は再び上昇傾向 (前・今月)・中国は4-6月GDP7.6%、投資・消費高水準維持、車販売、輸出、生産回復傾向、株価低迷。韓国、輸出低迷、投資増、生産やや回復、企業業績好調。台湾、輸出、生産低迷、業績悪化。インドネシア、経済好調。タイ、生産、消費回復傾向。ベトナム、高インフレ、車販売減少。シンガポールは再びマイナス。インド、5%台成長に鈍化、生産、車販売は回復傾向、物価は再び上昇傾向 |

| | | | | |
|------------------|---|---|---|--|
| 北 米 | <p>-株価: NYダウ 1日 13,329^{ドル}、24日 12,335^{ドル}、</p> <p>-雇用: 4月: 失業率 8.1%、0.1^{ポイント}改善 11.5万人増、HP 3万人削減、</p> <p>-物価: 消費: 4月: 小売売上高 6.4%増、主要小売業販売 0.6%増 暖冬、新車販売 2.3%増営業日 3日少、住宅着工 29.6%増</p> <p>-生産: 4月: 鉱工業前月比 1.1%増</p> <p>-貿易: 4月: 輸出 4.1%増、輸入 6.2%増</p> <p>-収益: 2-4月: 純益: シスコ 20%増 1,700億円、デル 33%減、6.3億^{ドル}、アーマー -17%増</p> | <p>-景気: 7日地区連銀: 全般的に緩やかに拡大</p> <p>-株価: NYダウ 4日 12,079^{ドル}、20日 12,837^{ドル}、</p> <p>-雇用: 5月: 失業率 8.2%、0.1^{ポイント}悪化 6.9万人</p> <p>-所得: 5月: 個人所得前月比 0.2%増</p> <p>-消費: 5月: 個人消費支出前月比横這い、小売売上高 5.3%増、前月比 0.2%減、新車販売 25.7%増 133万台昨年反動、住宅着工 28.5%増、前月比 4.8%減、新築販売 19.8%増、前月比 7.6%増</p> <p>-生産: 5月: 鉱工業前月比 0.1%減</p> <p>-貿易: 5月: 輸出 4.6%増、輸入 3.4%増</p> <p>-収益: 3-5月: 純益: オカクル 8%増 34.5億^{ドル}</p> | <p>-景気: 地区連銀、景気緩やかな^{ペース}で拡大、6月: 製造業景況感 49.7、3年ぶり 50%割れ</p> <p>-株価: NYダウ 3日 12,943^{ドル}、19日 12,927^{ドル}、</p> <p>-雇用: 6月: 失業率 8.2%横這い 8万人</p> <p>-消費: 6月: 小売売上高前月比 0.5%減、小売業販売 0.2%増減速、新車販売 22.1%増 128万台、住宅着工 23.6%増、前月比 6.9%増</p> <p>-収益: 4-6月: 純益: 主要 500社 6%増鈍化、インテル 4%減、2,240億円</p> | <p>(前々月)・GDPは1-3月 1.9%増で 11期連続+。車・住宅販売回復、個人消費は好調、投資は回復傾向。輸出は堅調も減速。受注、生産やや鈍化。失業率高水準横這い。企業収益 1-3月 8%増で 11期連続+。株価はボトムから回復の兆し。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用拡大が課題</p> <p>(前・今月)・GDPは1-3月 1.9%増で 11期連続+。失業率高水準横這い。車・住宅販売高水準、個人消費は好調もやや減速。投資は回復傾向。輸出は堅調も減速。受注、生産やや鈍化。企業収益 4-6月 6%増で 12期連続+。株価は回復傾向も足踏み。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用拡大が課題</p> |
| 欧 州 | <p>-財政・金融: ECB 政策金利 1%維持、仏オランダ大統領緊縮財政反発、ギリシャ、連立与党惨敗、南欧政府銀行救済追加支援、ギリシャ 1.8兆円資本注入</p> <p>-株価: 英 FTSE 1日 5,812、24日 5,266、</p> <p>-雇用: 4月: 失業率: ユーロ 11.0%、0.1^{ポイント}悪化最悪、独 5.4%、仏 10.2%、伊 10.2%、蘭 5.2%、スぺ 24.3%、ポ-ラ 9.9%</p> <p>-消費: 4月: 小売売上高: ユーロ 2.5%減、独 1.3%増、仏 0.6%増、英 0.3%減、スぺ 9.6%減、ポ-ラ 0.8%増、新車販売: 欧州 7.5%減、独 2.9%増、仏 1.9%減、英 3.3%増、伊 18%減、蘭 13.6%増、スぺ 21.7%減、ポ-ラ 6.7%増、</p> <p>-生産: 4月: 鉱工業: ユーロ 2.3%減、独 0.8%減、仏 2%増、英 1.7%減、伊 9.2%減</p> <p>-貿易: 3月: 輸出 4%増、輸入 0%</p> | <p>-財政・金融: ECB 政策金利 1%維持、EU、スぺインに最大 10兆円支援、スぺイン国債利回最高 7.3%危険水域、ギリシャ緊縮派過半数、29日成長・雇用協定案 EMSで銀行資本注入、成長戦略に 12兆円、南欧国債買取</p> <p>-株価: 英 FTSE 20日 5,622、29日 5,571、</p> <p>-雇用: ノキア 1万人追加削減、5月: 失業率 11.1%過去最悪、独 5.6%、仏 10.1%、伊 10.1%、蘭 5.1%、スぺイン 24.6%、ポ-ラ 9.9%</p> <p>-消費: 5月: 小売売上高: ユーロ 1.7%減、独 2.3%増、仏 1.2%減、英 3.7%増、スぺイン 4.8%減、ポ-ラ 1.1%減、新車販売: 欧州 9.3%減、独 4.8%減、仏 16.2%減、英 7.9%増、伊 14.3%減、スぺイン 8.2%減、ポ-ラ 7%増</p> <p>-生産: 5月: 鉱工業: ユーロ 2.8%減、独 0.2%減、仏 3.8%減、英 1.8%減、伊 6.9%減、蘭 1.7%減、スぺイン 6.1%減、ポ-ラ 2.6%増</p> <p>-貿易: 5月: 輸出 6%増、輸入 0%</p> | <p>-財政・金融: 6日 ECB 政策金利 0.25%引下げ 0.75%へ</p> <p>-株価: 英 FTSE 3日 5,687、17日 5,662、</p> <p>-雇用: プジョー 8千人削減</p> <p>-消費: 6月: 新車販売: 欧州 2.9%減、独 3%増、仏 0.6%減、英 3.5%増、伊 24.4%減、蘭 52%増、スぺイン 12.1%減、ポ-ランド 5.4%減</p> <p>-投資: 英、洋上風力 13兆円、7000基</p> | <p>(前々月)・GDP 1-3月横這い低迷。過去最悪の失業率で消費はマイナス、自動車販売大幅減少。輸出は堅調も減速。投資は停滞。生産はマイナス続く。企業業績は車関係好調、通信・環境が大幅赤字株価はボトムから回復の兆し。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)・GDP 1-3月横這い低迷。過去最悪の失業率で消費はマイナス、自動車販売減少続く。輸出はプラス。投資は停滞。生産はマイナス続く。企業業績は車関係好調、通信・環境が大幅赤字。株価は回復傾向も足踏み。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p> |
| 中 東 ア フ | | <p>-サウジアラビア: 12年: GDP 2.7 5.1%上方修正</p> | | <p>・主要国経済は政変沈静化で回復の兆し。太陽光、電力、水、石化プロジェクトに復興需要。中東情勢の安定化、景気回復が課題</p> |
| 中 南 米 | <p>-ブラジル: 31日 0.5%引下げ年 8.5%へ、12年: GDP 3%台</p> <p>-1-3月: GDP 0.8%増、前期比 0.2%増、消費好調、製造業 2.6%減</p> <p>-メキシコ: 1-3月: GDP 4.6%増 9期連続+、4月: 鉱工業生産 3.6%増、失業率 4.8%</p> | <p>-ブラジル: 12年: GDP 2.5%</p> <p>-メキシコ: 5月: 輸出 6.7%増</p> | | <p>・ブラジル経済は金融引締緩和で自動車等消費を中心に回復の兆し。メキシコ経済は堅調に推移。持続的成長が課題。</p> |
| 露 東 欧 | <p>-ロシア: 1-3月: GDP 4.9%増</p> | | | <p>・ロシアは石油価格の高止まりで輸出好調、投資、新車販売等内需中心に経済堅調。持続的回復が課題。</p> |